

# 五星山展1万人突破

大谷さん(白河)に記念品二本松

文化勲章を受章した日本画の巨匠五人の作品を集め、二本松市の大山忠作美術館で開催している「五星山展」の来場者が三日、一万人に達した。一万入目の来場者となった白河市の自営業大谷恭太郎さん(左)に、三保恵一市長と大山忠作氏の長女で女優の大山采子さん(同展実行委員長)が記念品を贈った。



来場1万人目の大谷さん(中央)と大山委員長(左)、三保市長(右)

念品を大事にしたい」と語った。巨匠五人の作品を前に「本物は違う」と感動していた。五星山展は十七日まで。同市出身の大山氏をはじめ東山魁夷、高

山辰雄、平山郁夫、加山又造各氏の作品三十五点を展示している。四日午後二時から記念トークショーが催される。大山氏の作品「智恵子に扮する有馬稲子像」に描かれた女優の有馬稲子さんが、采子さんと対談する。

# 「五星山展」入場者1万人

二本松 大谷さん(白河)に記念品



大山委員長(左)と三保市長から  
来場1万人目の記念品が贈ら  
れた大谷さん(中央)

文化勲章受章者の日本画の大家5人の作品を集めた「五星山展」は3日、入場者1万人を達成した。1万人目となった白河市の自営業大谷恭太郎さん(73)らに記念品が贈られた。同展は二本松市の大山忠作美術館で17日まで開かれている。

贈呈式では、二本松市出身の故大山忠作画伯の長女で女優、同展実行委員長の大山采子さんが大山画伯の

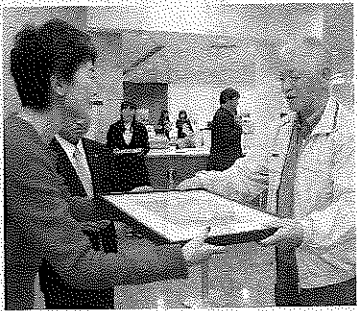
「光池游々」のリトグラフ、三保恵二市長が同展の図録をそれぞれ大谷さんに手渡した。妻といとこの4人で来場した大谷さんは「1万人目と聞いてびっくり。やはり本物は違う。大変感動した」などと話した。

震災被災者の心の復興支援を目的とした同展は同市と同館の主催、福島民友新聞社などの後援。大山画伯のほか、東山魁夷、高山辰雄、平山郁夫、加山又造と、名前に「山」の字がつく巨匠の作品を一堂に集めた。問い合わせは同館(電話0243②41217)へ。

## 「五星山展」入場者 1万人突破し式典

二本松市の「大山忠作美術館」で開かれている「五星山展」の来場者数が3日、1万人を突破し、記念セレモニーが行われた。

五星山展は復興支援の一環として、10月12日に開幕した。同市出身の大山忠作をはじめ、文化勲章を受章した日本画の巨匠5人の作品計35点を展示している。1万人目となった白河市借宿の自営業大谷恭太郎さ



ん(73)には、大山の絵のトリグラフなどが贈られた。写真。大谷さんは「まさか1万人目とは。素晴らしい作品も見られて、大変感動した」と話していた。大

山の長女で、同展を企画した女優の一色采子さん(55)は「予想を上回る数の来場者が集まり、うれしい。このまま2万、3万人も目指します」と語った。17日まで。